

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.37
2023.12.

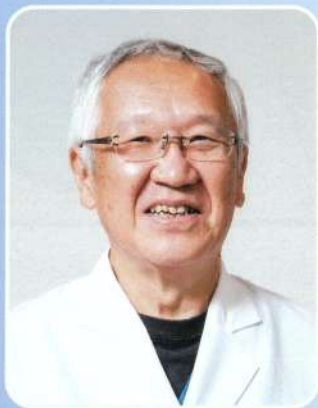
オーストラリア・シドニー

柘榴くわ

主を尋ね求めよ、見出すことのできるうちに。主に呼びかけよ、近づくのを恐るな。悪しきものはその道を捨て、不正なものは自らの思いを捨てよ。主に立ち帰れ、そうすれば主は憐れんでくださる。私たちの神に立ち帰れ、主は豊かに赦してくださる。

* *イザヤ書55章6-7節* *

人類はいつか、どこかで何か重大な罪を犯したのでしょうか。順調に見えた世界の発展でしたが、いきなりコロナの世界的な感染で数百万人の犠牲者が出たにもかかわらず、その原因となる感染源すら判明せず、まだその状況が落ち着かないうちにウクライナにロシアが侵略しました。これも唐突で理解が困難な出来事です。さらに輪をかけてハマスのミサイルテロ攻撃に始まったイスラエルの戦争と、平和を謳歌するはずの21世紀が死のはびこる血塗られた世紀のはじめとなり、すべて解決には程遠い状態です。日本としてはさらに北朝鮮や台湾問題があり、予断は許しません。さらにソフト面では、一国家以上の収益を上げているIT企業のロビー活動でコントロール機構の設置は遅々として進みません。IT技術特にチャットGPTはすでに独り歩きを始めています。世界の民主主義国家は4割でしかなく、他の6割は専制主義国家と言われ、日本人である我々から遠い世界ではいくつもの悲惨な状況が発生していることです。子ども、孫の代が心配です。今、世界中で真剣に神に祈る時ではないでしょうか。



巻頭言

院長 宇津宮 隆史

生殖補助医療（ART）が保険適用されて1年半経過した。保険適用されたことで、不妊治療の大部分が「疾患」として認められたことになる。50年間この「疾患」に携わってきたものとして本当に感慨深いものがある。かつて九州の某国立大学の倫理学教授は「生物の1割は不完全な形質を持つ。不妊も1割なら（当時、夫婦の10組に一組が不妊と言われていた。現在は5.5組に一組）それは自然現象と言えるので、治療する必要はないではないか。」と言われた。また、医療者（産婦人科でも）からも、不妊治療などは美容整形の豊乳術や隆鼻術と同じで、治療する必要はないとみられていた。そのうち、ARTが日常診療に加えられて、この分野は急激に注目を集めるようになった。当院は1992年に開業した。当時、本邦での不妊専門病院は4クリニックで、純粋に不妊に関する手術まで行うのは当院だけであったが、ARTだけを中心にしたクリニックが1995年頃から急増してきた。そこでは私費診療が主体となったため、経済的問題が大きくなってきた。そこで当院が全国に呼び掛けて署名運動と4回の国会請願（当時の釘宮馨衆議院議員のおかげで）を果たし、2004年から全国的に助成金の補助が受けられるようになった。初年度は66億円出て、政治家の力の強いことに驚いた。ただこの助成金は、全国民の「お情け」によるものであり、よって年齢制限、回数制限は仕方なかったのである。

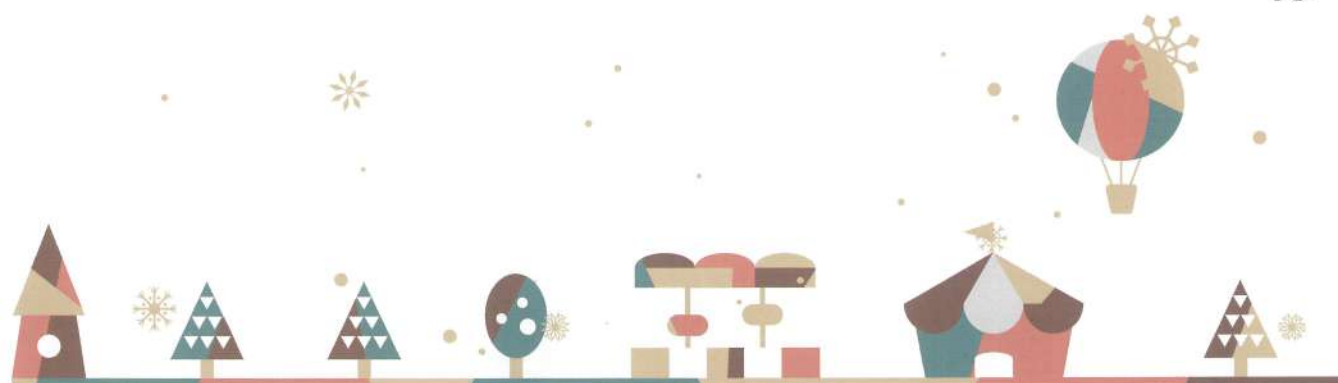
今回、ARTが保険適用された。しかし多くの改善すべき点がある。まず、回数制限、年齢制限である。患者はすでに国民健康保険料を支払っているのに、他の疾患と同様に、医学的理由は除き、年齢制限、回数制限なしに治療を受ける権利がある。よって、この回数制限、年齢制限は全く次元の異なる問題であるといえる。6回目と7回目、42歳と43歳の妊娠率の差はほとんど、ない。少し下



降するだけだ。これは今回の保険適用においての最も重大なポイントであり、憲法でいう、「等しく国民が健康な生活を送る権利」が侵されていると言えよう。現在、2024年春の診療報酬改定に向け、保険適用すべき一つの項目の要求があげられているが、まずこの回数制限、年齢制限が早急に改善されることを要求したい。

この意見を日本産科婦人科学会、日本生殖医学会、日本受精着床学会などの理事の方々にメールで送ったが、日産婦の「意見却下」以外、反応はなかった。学会はどうなっているのか、だれのために存在するのか、着床前検査や出生前検査などにみられるように昨今の学会と実臨床施設の考えの乖離がはなはだしくなっていることを危惧する。着床前検査では日産婦が大掛かりな倫理審議会を開催し、私も一委員として参加したが、広く意見を聞いたことになっている。しかしその結果は、「着床前検査を考えている患者への日産婦の説明動画」を見ればよく分かるが、「着床前検査などすべきでない、それを希望する私はそんなに偏っているのか、手続きが複雑で主治医に迷惑をかける」というような暗い内容で、着床前検査をためらわせるような動画である。学会は会員、患者の側に立つべきである。ここで日本産科婦人科学会は患者側に立たず、「広く意見を求め」た結果だけを重視するならば、だれが産婦人科患者の側に立つのか。他のどの学会もその患者側に立って主張している。小児科学会や神経筋系学会など、その患者の立場で産婦人科を攻撃する。何の苦もなく何人も元気な子どもを授かっている一般の人々には「一人でいいから子どもが欲しい」という不妊症の患者の切実な気持ちは理解できない。ここで日本産科婦人科学会や産婦人科系学会は産婦人科患者の側に立って主張すべき場面ではないか。

さて、ノーベル賞受賞者がまた出なかった。その原因として、日本の基礎科学の停滞、退歩が言われ始めて久しい。国家予算の基礎部門への配布が、いわゆる小泉、竹中のグローバル化によって抑えられてきた歴史に原因があることは論を俟たない。当院でも、そろそろ世代交代に向けてクリニックの内部改造を進める時期にきた。そこで電子カルテへの移行もその一つであり、それにあたって、50年前から電子化に造詣の深い研究をされてきた是永迪夫先生に相談し、10数社に声をかけ、10社前後にプレゼンをしてもらった。ここで当院の30年前からのデータ処理機能である「Sarah Base」との連結がネックになった。2年かけての各社のプレゼンでは、おのおの、自社の電子カルテの「できること」は熱心に紹介するが、Sarah Baseとの連結には消極的であった。新しい機能への連結など、労力の割には合わない、面倒な仕事を避けるという性向が見え見えであった。要するに、すでに出来上がっている自社の電子カルテで十分収入は約束されており、今更新しい仕事などに



手を出したくないのであろう。新しい技術の開拓に何の情熱も起さない技術者の集団と化している。これを知った時、日本のIT技術はここまで落ちぶれたかとショックであった。ノーベル賞どころか、日本の「ものづくり」集団としての、また、それを基礎から支えるはずの基礎科学の低迷状態を感じ、5年-10年後の日本の状況が目に見えたような気がしている。

ウクライナ戦争の最中に、イスラエルに対するハマスの3000発以上のミサイルテロ攻撃で第5次中東戦争（と言ってよい）が勃発した。そもそもハマスとパレスチナ解放戦線（ファタハ）は別の組織であり、ハマスはただユダヤ人を殺すためだけのテロ組織で、政治的責任は放棄している。イスラエルの病院が攻撃され、子どもに被害が出たという画面が報道されているが、ハマス側の意向に沿った絵が多いと感じる。イスラエルは西暦70年に国が滅びた。ユダヤ人は世界に離散した。そして第1次大戦と第2次大戦の頃にイギリスの三枚舌外交で、ユダヤ人とパレスチナ人の国家が隣り合ってきた。原因はここにある。しかし、ユダヤ人にとっては、また国がなくなり、ユダヤ人が絶滅するかもしれない事態である。

今世紀に入って、IT産業の理性とルールを無視したやりたい放題の繁栄と、強いもの勝ちになることが予想されていたグローバル化の美名に隠れた国家的、社会的秩序の放棄、さらにこれらを取り締まるはずの政治の無能、これらに伴って変化してきた価値観の行き先は目に見える。小中学生の最も理想的な職業は「YouTuber」とのこと。50年前の21世紀予想観は、膨大な軍事予算が平和維持費に変わり、自由で豊かな生活を送ることができる夢の世界が21世紀と期待された。しかし理性欠如、ルール無視、秩序放棄の社会では強い者が勝つ。ロシアの侵略、ハマスのテロ攻撃はこれらの世界的な倫理観の低下の結果であろうし、そのような世界となった今、ネビル・シュートの描いた「渚にて」も現実になる可能性が高い。

別府平和園は今年の春に新しい宮崎祐介園長が就任して新たな体制を組み、みんなで平和園のことを考えていこうという機運に包まれています。宮崎園長はそれこそ「たたき上げ」の力強いスタッフで、園のすべてを知り尽くしています。また、新しい体制を組み、3名の基幹的職員を先頭に各ホームが機能的に動ける体制を構築しました。また、平和園は大分県や別府市から特別に良好な関係と支援を受けています。とはいえ、園には今から手を付けておかねばならないこととして、園の運営の将来計画と園本体の建物の改築があります。それらはともに職員全員で取り組む必要があり、昨今の社会情勢、特に社会福祉関係の政治的、経済的状況を鑑みながら計画を進める時期に来ていると思います。これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



研究室

タイムラプスインキュベーター EmbryoScope⁺ (vitrolife社) 導入！

タイムラプスとは定位置で一定間隔(10分毎)撮影し、その写真を連続で映し出すことで、動画のようにみることができる技術です。

近年、この技術が不妊治療で使われる培養器にも活用されています。通常の培養では、1日に1回培養器外に受精卵を取り出し、顕微鏡下で発育を観察する定点観察が行われているのに対し、タイムラプスインキュベーターでは受精卵を培養器外に取り出すことなく観察ができます。それにより正常に発育する受精卵と、発育停止する受精卵の違いが観察可能となりました。

当院では、vitrolife社のEmbryoScope⁺を導入し、1つの培養器で15症例分の受精卵をモニタリングすることが可能となりました。

子宮内に近づけた設定温度およびガス濃度に変化が生じた場合は培養士にメールで連絡が来ます。



非常用バックアップ電源 – 安心 – 導入！

病院全体では非常用発電装置を設置していますが、2023年3月より、クリーンルーム内に据置型非常用バックアップ電源(株式会社アイケン)が入りました。

これにより、停電時にはクリーンルーム内で自動切換えで蓄電池から電気を供給できるようになりました。

災害時に停電があったとしても、大事な胚を培養している培養器が使用可能です。また復旧までに時間がかかりそうな場合でも、胚凍結が施行できる時間を確保でき、胚を保存できる状態を保てるようにしています。

500Wで
8時間供給可能！

騒音、発熱、排気ガスを
発生せず環境にやさしい！

いつ起こるか分からない災害ですが、日頃からの
備えをしっかりとしていきたいと考えています。





医 局



これまでとこれからの 着床前診断 (PGT-A / PGT-SR)



着床前遺伝学的検査 (preimplantation genetic testing: PGT) は、体外受精を行った受精卵 (胚) の栄養外胚葉 (胎盤になる部分) 細胞を5~10細胞程度生検し、染色体や遺伝子検査を行って異常を持たないもしくは少ない胚を子宮に移植する技術です。

日本産科婦人科学会主導のもと2017年1月から PGT-A のパイロット試験が当院を含む3施設に依頼遂行され、2020年からは本試験が実施されました。

- 対 象
- ・反復体外受精胚移植 (ART) 不成功 (PGT-A)
 - ・習慣流産 (PGT-A)
 - ・夫婦いずれかが染色体構造異常をもつ (PGT-SR)

PGT-A を行った胚を移植できれば妊娠率は70% 前後、流産率は10% 前後との結果が得られました。

・ PGT-Aパイロットスタディー (2017-2018年)

Hum. Repod 2019 Sato T.et.al

	反復着床不全		不育症	
	PGT-A 実施群 (n=42)	PGT-A 非実施群 (n=50)	PGT-A 実施群 (n=41)	PGT-A 非実施群 (n=38)
胚生検実施症例数	39	—	33	—
良好胚が1つ以上あった患者数	24	41	21	37
正数性胚率	21.9% (42/199)	—	29.2% (47/161)	—
胚移植あたり妊娠率	<u>70.8% (17/24)**</u>	31.7% (13/41)	<u>66.7% (14/21)**</u>	29.7% (11/37)
妊娠あたり流産率	11.8% (2/17)	0% (0/13)	14.3% (2/14)	20.0% (2/10)
胚移植あたり出産率	62.5% (15/24)*	31.7% (13/41)	52.4% (11/21)*	21.6% (8/37)

*P<0.05, **P<0.01 vs PGT非実施群

・ PGT-A JSOG (全国規模の臨床研究 2020-2022年)

Reprod Med Biol. 2023

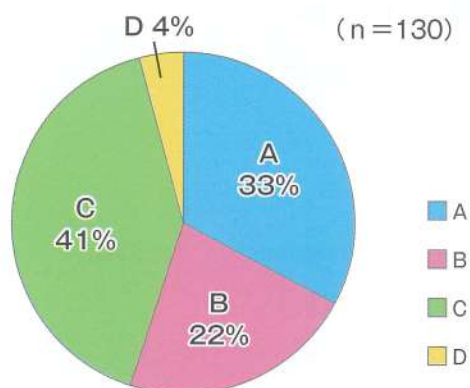
	反復着床不全 (n=16136)	不育症 (n=7650)	構造異常 (n=1283)	Total (n=25069)
PGT-A/SR周期数	11626	5282	1019	17927
胚移植周期数	4101	1663	316	6080
胚移植あたり妊娠率	65.5% (2688/4101)	74.7% (1243/1663)	80.7% (255/316)	<u>68.8% (4186/6080)</u>
妊娠あたり流産率	9.9% (244/2688)	11.1% (126/1243)	11.8% (28/255)	<u>10.4% (398/4186)</u>

PGTの結果はA～D判定の4つに分類されます。

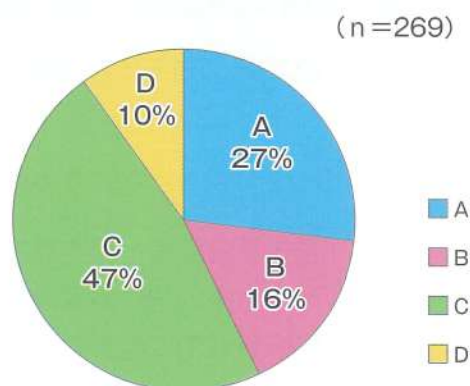
- A判定：正倍数性
- B判定：正倍数性とも異数性とも言えない胚(モザイク胚など)
- C判定：異数性もしくは構造異常を示す胚
- D判定：解析結果の判定不能な胚(生検細胞の量不足や変性など)

当院のPGTを施行し検査に提出できた胚の結果を示します。

PGT-A 習慣流産



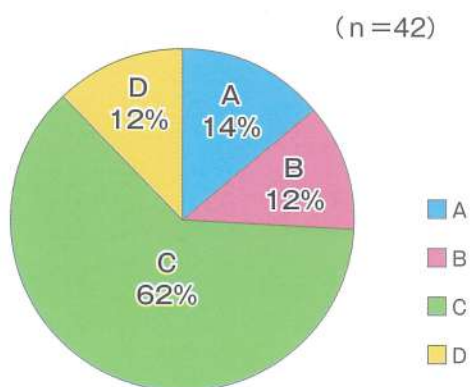
PGT-A 反復不成功



PGT-A 習慣流産では、胚の正倍数性は33%、胚の異数性を示す胚盤胞は41%で移植を避けることができ流産のリスクを減らせることが期待されます。

PGT-A 反復不成功では、胚の異数性を示す胚盤胞は47%と胚移植できないC判定が多い傾向を認めました。胚の正倍数性は27%でした。

PGT-SR



PGT-SRは、胚移植できないC判定が62%と多くを占めました。

PGTは今後先進医療になる見込みで、そうなると保険診療との併用が可能になる予定ですが、現時点では私費での治療・検査です。

最新の知見とともに一人ひとりへ活かせるようひきつづき検討を行っていきます。

4年ぶりの国際学会で発表のため訪れた
9月のオーストラリア・アデレード



学会参加

今年は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類感染症に分類されるようになり、各学会はほとんどがwebも含む現地開催となりました。

当院でも、7か所8学会に参加し、各部署が口頭発表18題、ポスター発表8題の研究成果を発表させていただきました。

久しぶりに参加させていただく学会では、新型コロナウイルス感染症の流行前のような活気溢れる意見交換や多施設との交流もできました。

4/8 第18回 九州産婦人科内視鏡手術研究会（福岡/WEB）

発表：「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術の有効性」（伊東裕子）

4/9 第79回 九州・沖縄生殖医学会（福岡）

発表：「腹式子宮筋腫・腺筋症核出後患者の創部に対する退院支援の検討」（大塚華恋）
「不妊治療公的医療保険適用に関する質問紙調査」（戸高里美）
「胚培養液中に含まれる遊離DNAの継時変化」（小林あやね）
「長期胚凍結保存後の臨床成績および出生児調査」（後藤香里）
「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術の治療成績の検討」（伊東裕子）

5/12 第75回 日本産科婦人科学会学術講演会（東京）

ポスター：「子宮内膜症合併妊娠に対する腹腔鏡下アルコール固定術の周産期予後に関する検討」（津野晃寿）
「体外受精におけるトリガー時間と卵子成熟度の検討」（伊東裕子）

5/20 第64回 日本卵子学会学術集会（茨城）

ポスター：「niPGT-Aの最適サンプリング時期の検討」（小林あやね）
「長期胚凍結保存後の臨床成績および出生児調査」（後藤香里）



7/27 第41回 日本受精着床学会総会・学術講演会（仙台）

- 発表：「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術患者の創部に対する
退院支援の関わりと今後の課題について」（大塚華恋 / 川村智恵）
- 「不妊治療公的医療保険適用に関する質問紙調査」（戸高里美）
- 「体重指導を実施した BMI32 の患者の一例」（川村智恵）
- 「重量計を使用した液体窒素タンク管理システムの運用報告」（大津英子）
- 「niPGT-A の最適な培養液採取時期の検討」（大津英子）
- 「胚凍結保存期間における融解後臨床成績および出生時調査」（後藤香里）
- 「胚移植時子宮内膜を用いた着床関連遺伝子の周期変動について」（後藤香里）
- 「体外受精のトリガー時間と卵子成熟度の検討」（伊東裕子 / 院長）
- ポスター：「原疾患治療に伴う妊孕性温存目的の精子凍結」（甲斐由布子）

9/8 ASPIRE2023 The 12th Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction

- 発表：「The creation of a new embryo culture medium with 31 optimal components derived from human oviduct fluid : a prospective multicenter randomized trial」（宇津宮隆史）

9/15 第63回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会（滋賀）

- 発表：「PCOS に対する腹腔鏡下卵巣多孔術の有効性」（伊東裕子 / 甲斐由布子）

11/3 第26回 日本 IVF 学会・第21回 世界体外受精会議(ISIVF2023)（大阪）

- ポスター：「原疾患治療に伴う妊孕性温存目的の精子凍結」（甲斐由布子）

11/9 第68回 日本生殖医学会学術講演会・総会（金沢）

- 発表：「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術患者の創部に対する
退院支援の関わりと今後の課題について」（大塚華恋）
- 「不妊治療公的医療保険適用に関する質問紙調査」（戸高里美）
- 「凍結保存期間における融解後臨床成績および出生児調査」（後藤香里 / 矢野綾音）
- 「niPGT-A の最適な培養液採取時期の検討」（神田晶子）
- ポスター：「卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する腹腔鏡下アルコール固定術の周産期予後に関する検討」（津野晃寿）
- 「PCOS に対する腹腔鏡下卵巣多孔術の治療成績の検討」（伊東裕子）



看護部

不妊治療公的医療保険に関する質問紙調査

2022年4月から生殖補助医療での公的医療保険適用が開始となりました。

当院で治療開始前と治療中の方に、保険適用前と保険適用後でどのような影響があったか、「保険適用について」のアンケート調査を2022年7月～10月まで行いました。

一部ですが、調査結果を報告します。

〈アンケート結果から〉

体外受精の保険適用について、良かった点・改善希望点や、期待していたこと・期待と異なったことを教えてください。
(自由記述の中で意見が多かったものを一部抜粋)

良かった点

- 金銭的負担が減った (他48名)
- 助成金の手続きなどが不要になった (他6名)
- 体外受精をしようというきっかけになった (他3名)
- 保険適用になり限度額も利用できるようになったこと (他1名)
- 所得制限がない点



改善希望点

- 使用できる薬剤の種類や量に制限があること (他7名)
- 年齢、回数制限 (他5名)
- PGT-Aができないこと (他3名)
- 患者が増えたため、待ち時間が長い (他3名)
- 混合診療ができないことで、治療の選択や方法がせまってしまう (他3名)
- 一つでも適用外の事をするとなら全額自費になること (他2名)
- 今まで出来ていたことが出来なくなった (他2名)
- 保険適用の範囲内で治療が難しい場合、助成金が使えない (他2名)

期待していたこと

- 金銭的負担の軽減 (他11名)
- 体外受精へのハードルがさがった (他1名)
- 回数制限、年齢制限がないこと (他1名)
- 自分が今までしていた治療がそのまま行えると思っていた
- ステップアップのきっかけになるのではないかと期待していた

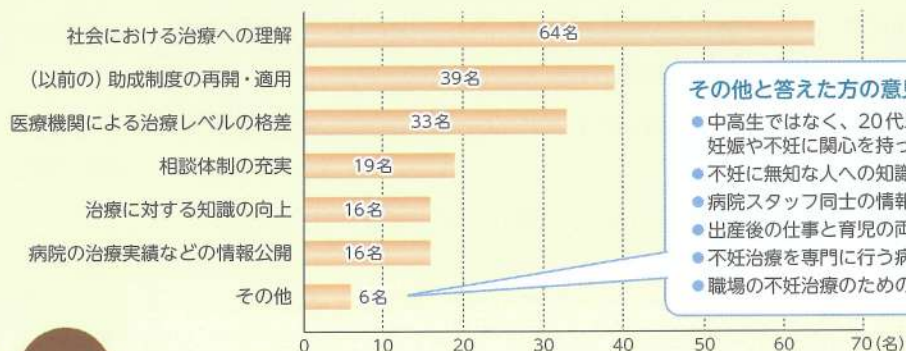


期待と異なったこと

- 使用できる薬剤の種類や量に制限があった (他6名)
- さまざまな制限があること (他2名)
- 回数制限があること (他2名)
- 助成金で治療すると負担があまり変わらない (他2名)
- 回数制限、年齢制限があること (他1名)
- できないことの多さ (他1名)
- 年齢制限を延長してほしかった
- すべての治療に保険が適用できればよかった
- 条件(制約)が多くて適用しない場合が多い
- まだまだ費用がかかる

体外受精の保険適用以外で、改善してほしいこと

(項目選択による回答) n=91 / 複数回答あり



その他と答えた方の意見

- 中高生ではなく、20代以降の今、その立場にいる人たちへの妊娠や不妊に関心を持ってもらうこと
- 不妊に無知な人への知識の拡大
- 病院スタッフ同士の情報共有
- 出産後の仕事と育児の両立をサポートする施設
- 不妊治療を専門に行う病院の拡充
- 職場の不妊治療のための休暇サポートなど

調査に協力して下さった、当院治療中の患者さんに感謝します。

戸高 里美





心理専門相談室



今年は暑くて長い夏が続き、涼しくなっても何となく疲れが残っている、心身の調子が戻らないという方も多いのではないのでしょうか？

特に、治療中のストレスや流産などの悲しい出来事があると、心と身体などに色々な反応が表れることがあります。

ストレスや悲嘆による反応にはさまざまな顔があります

感情、気分には…

- イライラする、怒りが湧く
- ゆううつ、気分が落ち込む
- 何もしたくない
- ショック、受け入れられない
- ひとりぼちな気がする
- 後悔、自分を責める気持ち
- 不安でいっぱいになる

身体には…

- よく眠れない
- 食欲がない
- (偏)頭痛や肩こりが続く
- 喉がつまった感じがする
- だるい、疲れやすい



思考には…

- 考えがまとまらない
- 同じ事ばかり考える
- 何も信じられない、誰も信じられない
- 自分は大丈夫
- この位、たいしたことではない
- この次は〇〇するので、うまくいくはず

行動には…

- 外出を避ける、一人である
- 仕事や家事に身が入らない
- たばこやお酒の量が増える
- ゲームや趣味に没頭する
- 忙しく動き回る
- 遅刻、早退、有給、ミスが増える

自分のつらさや悲しみに気づき、自分に合ったやり方で対処しましょう

一人でがまんしないで、一人で抱え込まないで…

- つらい時、悲しい時は泣いてもよいのです。
- 誰かに気持ちを聞いてもらいましょう。黙って聞いてもらうだけでも気持ちが楽になることがあります。
- 悲しみやつらさに対する反応は人それぞれです。反応の仕方に良いも悪いもありません。
- 気持ちは外からは見えません。大切な人と気持ちを伝え合って理解を深めていくことも大切です。

回復には時間がかかることもあります…

- 無理をして早く元気にならなくてもよいのです。自分のペースで癒やしていくことが大切です。
- 周りも回復を急かさず、理解して温かく見守ってくれると有り難いですね。

色々なセルフケアを試してみるのも良いかもしれません…

- 気が向いたら好きな音楽を聴く、映画を観る、ドライブや旅行など、気晴らしや気分転換を試してみる。
- 呼吸法や筋弛緩法、自律訓練法、ヨガ、マッサージなど、自分に合ったリラクゼーション法を試してみる。

心理相談を
ご利用ください

患者さんのところが少しでも楽になれるように…

- 患者さんの思いを大切にカウンセリングを続けていきたいと思えます。
- 気持ちがモヤモヤする時や辛くなった時は、どうぞ心理相談をご利用ください。





受付



妊活応援検診助成制度について

初診時にお渡ししているピンク色の パンフレットはご覧になりましたか？

不妊検査に要した費用の自己負担額について、夫婦1組につき1回限り、3万円を上限として助成されます。申請期限や助成の対象となる方、検査等条件がありますので、お早めにご確認をお願いします。



第2子以降の妊娠のため検査を行っている方で、下記に該当する方は 対象外となります

- ・以前の治療時に申請をされている方（夫婦1組につき1回限り）
- ・申請したことがないが、令和2年10月1日以降に人工授精又は、体外受精・顕微授精を行った方

当院では書類をお預かりしてお渡しできるまで2～3週間ほどお時間を頂いております。

お支払いが3万円を超えたら上記ご確認のうえ、お早めに受付へお声掛けをお願いします。



お問い合わせ

大分市にお住まいの方

大分市保健所健康課

〒870-8506 大分市荷揚町6-1

大分市以外にお住まいの方

大分県福祉保健部子ども未来課

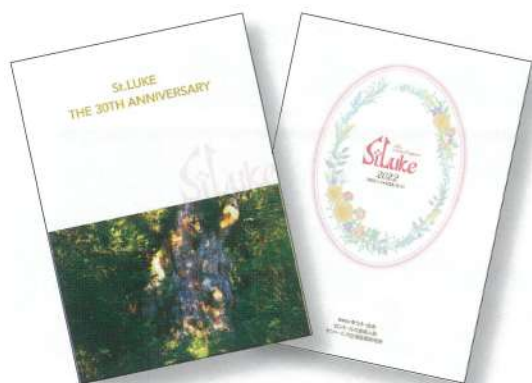
〒870-8501 大分市大手町3-1-1



情報処理室



開院30周年記念誌・2022年 年報を発行しました



当院では、年に1度、開院からの診療データをまとめた年報を発行しています。

昨年は開院30周年記念誌を発行し、今年は2022年までのデータを集計した2022年報を発行しました。

ホームページに掲載していますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

体外受精で生まれた子どもの発育と発達に関する調査について

AMED (国立研究開発法人日本医療研究開発機構) の成育疾患克服等総合研究事業「2019-2021年度生殖補助医療の出生児の長期予後と技術の安全性に関する研究」では、体外受精で生まれた子どもの発育・疾病罹患・精神運動発達に関する12歳児までの症例集積が行われ現在分析中です。

今年は、新たに2008年と2011年に体外受精で生まれた計1,500名を超える子どもを調査し、今後も「生殖補助医療における出生児の長期予後と新規医療技術の影響に関する研究」として、15歳児までの発育状況を調査する予定です。当院を含むJISART (日本生殖補助医療標準化機関) 加盟の全国の不妊治療施設と一般の産婦人科病院の患者さんにご協力いただき、情報処理室では、調査書類の準備やJISART施設間の諸々の取りまとめなど、実務面でのサポートをしています。

アンケート調査の内容 (12歳児の場合)

1. **調査票**：身体発育・疾病・思春期の始まりについての調査です。
2. **子どもの行動チェックリスト**：精神運動発達・問題行動の有無についての調査です。
3. **対人応答性尺度**：ASD (自閉スペクトラム症) の症状を確認する調査です。

12歳までの調査でわかったこと

- 凍結融解胚移植児は1.5歳まで体重が少し重い
 - 凍結融解胚移植児は3歳までBMIが少し高い
 - 新鮮胚移植児は6歳で身長が少し高い
 - 精神運動発達に関してはおおむね自然妊娠児と差はないが、ASDに関してはまだ議論が残る。
- ⇒ 親の遺伝的な影響を否定できない

これらの差は
8歳以降大きな違いはなくなる。



厨房



今年は、ルカの行事食を紹介します！これを見て楽しんでいただけたら嬉しいです♪



ひなまつり

ふたり並んで幸せそう



七夕

皆様の願いが届きますように...
七夕飾りに願いを込めて



クリスマス

本格的な外国のお菓子を
食べてみませんか？



レシピ
紹介

豆腐サラダ の作り方 (5~6人分)

【材料】

豆腐.....200g
水菜.....150g
人参.....30g
ちりめん又はしらす.....6g



A ポン酢.....大さじ1と1/3
ゴマドレッシング...小さじ1



作り方

- 1 豆腐はキッチンペーパーで水気を切る
- 2 水菜は3cm幅に切り、人参は千切りする
- 3 ボウルに水気を切った豆腐をちぎり入れ、ちりめんとA入れ混ぜ、2を加え和える



新人紹介



山路 美和
【情報処理室】

ご縁をいただき、9月から再入職いたしました。6年のブランクがあり、新しい事を覚えることにも四苦八苦の毎日ですが、お役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



園田 夏実
【情報処理室】

入職して1年が経ちました。情報処理室の仕事は多岐にわたりますが、先輩方のご指導を受けながらも少しずつ任せられるようになってきました。院内の医療がスムーズにいこうもっと院内全体をサポートできるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



佐藤 義則
【情報処理室】

2022年2月から電子カルテの選定と導入準備を依頼され、週2回勤務しています。電子カルテと既存のデータベースとの連携が病院の希望通りに行えるよう導入準備を進めてまいります。これからもよろしくお願いいたします。



高橋 佳奈子
【受付】

昨年の4月に入職しました。先輩方にご指導いただき、日々多くの学びを得ています。業務にも慣れてきましたが、専門的な知識をより深め、患者さんの治療のサポートができるよう努めたいと思います。よろしくお願いいたします。



北山 仁菜
【研究室・培養室】

入職して4カ月が経ちました。最初は仕事を覚えることに手一杯でしたが、最近になって微力ながら知識を活かして働けることに楽しさを感じているところです。自身の知識、技術の向上に積極的にはげみ、患者さんはもちろんセント・ルカや先輩方の力にも少しでもなれたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。



衛藤 菜績
【研究室・培養室】

4月に入職し、最近では患者さんと接する機会が増え、医療従事者としての自覚と責任を感じています。先生や先輩方から多くのことを学び、皆様の力になれるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。



木村 玲子
【研究室・培養室アシスタント】

年明けに入職しました。世界最先端の高度な技術を目の当たりにし、緊張感を持って職務に臨む毎日です。皆様のお力になれるよう、頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



江口 かおり
【厨房】

約12年ぶりにセント・ルカに勤務しています。久々の仕事は新しく覚える事も多く、部署内の先輩方にフォローしていただいている日々です。料理の技術に向上心を持ち、少しでも役に立てるよう仕事に取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。

退職によせて



矢野 千恵美 【厨房】

セント・ルカに入職して22年、この度定年退職を迎える事となりました。「家庭の味をコンセプトに」と院長・事務長からの言葉に後押しされ、ここまで勤め上げる事ができました。多くの患者さんへ食事を提供することで、「食」を通し沢山の事を学ばせていただきました。

春のお花見、クリスマス会、忘年会など1年を通してのレクリエーション。厨房が関わる事も多くあり、皆の力も借りながら切磋琢磨した事は、大切な思い出であり、素晴らしい財産でもあります。ありがとうございました。12月からはパートタイマーで引き続き勤務させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

開院31周年記念

2023年6月3日

31周年を迎えました。
益々、患者さんに寄り添える医療を目指します！

開院から2022年12月までの成績

外来患者数 ————— 31,786人
 男性 ————— 12,000人
 女性 ————— 19,786人
 挙児希望女性数 ————— 15,419人

妊娠件数 ————— 10,199件
 妊娠に至らなかった女性 ————— 6,948人
 (うち、初診後1カ月以内の方42人)

患者あたりの妊娠率 ————— 59.3%

※治療を途中で諦めた女性 ————— 7,460人

【内訳】

- 一度も妊娠に至らなかった女性 — 6,537人
- 一度でも妊娠した女性 ————— 923人
 - a. いつの間にか諦めた女性 ——— 4,978人
 - b. 諦めざるをえなかった人
(無精子症、早発閉経、高齢など) ——— 1,886人
 - c. 当院での治療を諦めた女性
(転勤、転院、離婚、死別、死去など) ——— 596人

実妊娠率 ————— 84.9%

(挙児希望の患者さんから初診のみの方、
およびいつの間にか諦めた人を除いた妊娠率)



消防訓練

2023年5月23日・11月28日

今年は、2回(5/23・11/28)消防訓練を行いました。

訓練後各部署で反省点をあげ、どう対策・改善するかの話し合いを行っています。

今後も継続して行っていききたいと思います。



新人歓迎会

2023年7月24日

新型コロナウイルスが流行してからの4年間、当院でもさまざまな恒例行事が出来なくなりましたが、今年の5月から第5類感染症に引き下げられたのを機に7月に新人歓迎会を開いていただきました。

コロナ禍でマスク生活が当たり前になり、以前では考えられませんが今回の歓迎会を通じて初めて顔を知ることがありました。

久々の行事で全員参加はできませんでしたが、笑顔溢れる楽しい会になりました。

これからどんどん行事を復活させていく前に、全体で士気を高められたような気がします。



2023年を振り返って

01.06	木村玲子(研究室・培養室アシスタント)	03.24	第255回 大分市医師会産婦人科臨床検討会 Hybrid学術講演会 (大分/WEB開催) 参加(院長)
01.15	シンポジウム「精子・胚の提供等による生殖補助医療について ー議論すべき課題の抽出ー」(WEB開催) 参加(院長)	03.28	2022年度 第11回 PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)
01.17	2022年度 第9回 PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)	03.29	メルクバイオフィーマウエビナー(WEB開催) 参加(院長)
01.17	テルモ大分術後疼痛管理WEBセミナー(WEB開催) 参加(院長)	03.30	フェリングファーマWEBセミナー(WEB開催) 参加(院長)
01.21	第44回 日本エンドメトリオシス学会(高知/WEB開催) 参加(津野、院長) 発表:「子宮内膜症合併妊娠に対する腹腔鏡下 アルコール固定術の周産期予後に関する検討」 (津野晃寿)	04.01	新入職員 衛藤菜緒、北山仁菜(研究室・培養室)
01.23	1月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)	04.02	生まれてくる子どものための医療(生殖・周産期)に関わる 「生命倫理について審議・監理・運営する公的プラット フォーム」についての公開討論会(WEB開催) 参加(院長)
01.27	地域がん・生殖医療ネットワークの構築と 機能に関する全国ワークショップ(WEB開催) 参加(小池、神田、宮田、伊東、院長)	04.08	第18回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡/WEB開催) 参加(伊東、院長) 発表:「PCOSに対する腹腔鏡下卵巢多孔術の有効性」 (伊東裕子)
01.29	大分県産科婦人科学会臨時総会(大分) 参加(院長)	04.09	第79回 九州・沖縄生殖医学会(福岡) 参加(小林、後藤香、大塚、戸高、後藤裕、伊東、院長) 座長:第2郡「培養・胚評価」(伊東裕子) 発表:「胚培養液に含まれる遊離DNAの継時変化」 (小林あやね)
02.04	日本生殖心理学会 第14回 資格継続研修会(東京) 参加(長木、甲斐忍)		「長期胚凍結保存後の臨床成績 および出生児調査」(後藤香里)
02.04	第20回 日本生殖心理学会・理事会・評議員会・意見交換会(東京) 参加(院長)		「腹式子宮筋腫・腺筋症核出後患者の 創部に対する退院支援の検討」(大塚華恋)
02.05	第20回 日本生殖心理学会・学術集会(東京) 参加(長木、甲斐忍、院長)		「不妊治療公的医療保険に関する質問紙調査」 (戸高里美)
	発表:「初診患者とPGT-A検討中患者の PGT-Aに対する意識調査」(長木美幸)		「PCOSに対する腹腔鏡下卵巢多孔術の 治療成績の検討」(伊東裕子)
02.07	院内全体研修:「個人情報保護～ランサムウェア被害とは」 (担当:看護部)	04.18	PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)
02.07	令和4年度 第1回 性暴力被害者支援相談員等研修(WEB開催) 参加(川村、伊東)	04.24	4月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)
02.07	JAPCO世話人会(WEB開催) 参加(院長)	04.27	あすか製薬WEB講演会(WEB開催) 参加(院長)
02.11	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー from 岡大ARTセンター(WEB開催) 参加(院長)	05.11	オリジオ・ジャパンウエビナー(WEB開催) 参加(院長)
02.17	第17回 遺伝カウンセリングアドバンスセミナー (オンデマンド配信) 参加(院長)	05.12	第75回 日本産科婦人科学会学術講演会 (東京/オンデマンド開催) 参加(津野、伊東、院長) ポスター発表:「子宮内膜症合併妊娠に対する 腹腔鏡下アルコール固定術の周産期 予後に関する検討」(津野晃寿)
02.18	第16回 治療の終結を決断した方のお話が聞ける会 参加者3名		「体外受精におけるトリガー時間と 卵子成熟度の検討」(伊東裕子)
02.19	2023年度 JISART 審査説明会/審査研修(WEB開催) 参加(甲斐忍、坂本)	05.16	PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)
02.21	令和4年度 麻薬取扱者説明会(WEB開催) 参加(戸高)	05.20	第64回 日本卵子学会学術集会(茨木/オンデマンド開催) 参加(小林、後藤香、院長) ポスター発表:「長期凍結保存胚融解後の臨床成績 および出生児調査」(後藤香里)
02.21	2022年度 第10回 PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)		「niPGT-Aの最適サンプリング 時期の検討」(小林あやね)
02.22	第17回 母性衛生学会学術集会実行委員会拡大運営会議(大分) 参加(川村)	05.22	5月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)
02.25	第13回 日本がん・生殖医療学会学術集会(埼玉/WEB開催) WEB参加(院長)	05.23	院内全体研修:避難訓練(担当:情報処理室)
02.27	2月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)	05.25	大分県立看護科学大学講義 参加(園田、高橋、山本、衛藤、北山) 講義:「不妊症講座」(院長)
02.28	株式会社ジネコ フリーマガジン「ジネコ」夏号(Vol.58)取材 株式会社ジネコ オンライン質問会(WEB開催) 講師(院長)	05.25	福岡臨床遺伝研究会(WEB開催) 参加(津野、伊東)
03.01	日本受精着床学会 2022年度 第3回 常務理事会(WEB開催) 参加(院長)	05.26	2023年度 JISART 施設認定審査 オブザーバー(坂本)
03.02	第8回 病診連携セミナー(WEB開催) 参加(院長)	05.28	第80回 九州連合産科婦人科学会・ 第74回 九州ブロック産婦人科医会(別府) 参加(院長)
03.03	PGT-A先進Bキックオフ会議(WEB開催) 参加(小林、神田、津野、院長)	05.30	院内マネジメントレビュー
03.05	日本産科婦人科内視鏡学会 第2回 拡大学術研修会 (東京/オンデマンド開催) WEB参加(院長)	06.01	日本卵子学会 生殖補助医療胚培養士(矢野綾音)
03.05	第13回 日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム(WEB開催) 参加(院長)	06.02	株式会社大銀経済経営研究所 月刊誌「我が社を語る」取材(院長)
03.08	2022年度 AMED(苛原班) 第2回 班会議(WEB開催) 参加(院長)	06.03	JISART 理事会・理事長選挙(大阪) 参加(院長)
03.09	Varinos WEBセミナー(WEB開催) 参加(院長)	06.03	第15回 JISART 医療事務教育セミナー(大阪) 参加(濱、青木)
03.11	第19回 ART生涯研修コース(東京) 参加(矢野綾、小林)	06.03	第15回 JISART ラボ教育セミナー(大阪) 参加(小林、後藤香)
03.14	院内安全管理研修:「迷惑メールについて」(担当:情報処理室)	06.03	第14回 JISART 心理教育セミナー(大阪) 参加(上野)
03.20	3月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)	06.03	第19回 JISART 看護教育セミナー(大阪) 参加(宮田、坂本)
03.24	妊孕性温存治療補助事業等の説明及び周知等連絡会(WEB開催) 参加(青木、長木、宮田、院長)	06.04	第20回 JISART シンポジウムおよび総会(大阪) 参加(濱、青木、小林、後藤香、上野、宮田、坂本、 甲斐由、院長)

06.09	大分県産婦人科医会長・大分産科婦人科学会会長退任慰労会(大分) 参加(甲斐由、津野、伊東、院長)	08.03	第256回 大分市医師会産婦人科学術講演会臨床検討会 (大分/ハイブリッド開催) WEB参加(甲斐由、津野、伊東、院長)
06.12	JISART臨時理事会(WEB開催) 参加(院長)	08.08	JISART倫理委員会(WEB開催) 参加(院長)
06.13	院内全体研修:「医療接客」(担当:受付)	08.19	日本生殖心理学会 2023年度(第16期)生殖医療相談士養成講座 (東京) 参加(山本)
06.17	旧九州大学温泉治療学研究産婦人科 同窓会(大分) 参加(院長)	08.20	第7回 ART JAPAN 生殖研究会(WEB開催) 参加(院長)
06.20	PGT-Aに関する小委員会(WEB開催) 参加(院長)	08.20	令和5年度 大分産婦人科学会・大分県産婦人科医会総会(大分) 参加(津野、院長)
06.22	福岡臨床遺伝研究会(WEB開催) 参加(津野、伊東)	08.22	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』冬号(Vol.60)取材 (院長)
06.23	科研製薬 エキスパートDrウェブセミナー(WEB開催) 参加(院長)	08.23	令和5年度 医政講演会(国政報告会)(大分) 参加(院長)
06.25	第11回 日本生殖医療支援システム研究会 -ICT/IoTを活用したART医療-(広島) 参加(山本、魚住、越名、矢野綾、川村、甲斐由、院長)	08.24	福岡臨床遺伝研究会(WEB開催) 参加(津野、伊東)
06.26	6月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)	08.26	第79回 ガーネットサークル 参加者3名
06.26	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』秋号(Vol.59)取材 (院長)	08.28	8月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、院長)
07.02	第6回 JAPCO会議(WEB開催) 参加(院長)	08.29	院内全体研修:「食中毒について」(担当:厨房)
07.04	院内安全管理研修:「カスタマーハラスメント」(担当:看護部)	08.29	JISART予後調査に関する統計会議(WEB開催) 参加(院長)
07.05	日本生殖心理学会 2023年度(第16期)生殖医療相談士養成講座 (WEB開催) 参加(山本)	09.01	新入職員 山路美和(情報処理室)
07.05	日本生殖心理学会2023年度(第17期) 生殖心理カウンセラー養成講座(WEB開催) 参加(川村)	09.01	第33回 遺伝医学セミナー(オンデマンド開催) 参加(院長)
07.07	第47回 日本遺伝カウンセリング学会学術集会(長野) 参加(院長) 発表:「着床前胚染色体検査(PGT-A)を 検討中の患者と初診患者との PGT-Aに対する意識調査」(院長)	09.02	日本生殖心理学会 2023年度(第17期) 生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(川村)
07.08	第26回 非配偶者間生殖医療に関わるカウンセラー実務研修 (大阪/WEB開催) 講師:上野桂子	09.02	第84回 JISART理事会(WEB開催) 参加(院長)
07.08	小林栄仁教授 就任記念祝賀会/橋原久司特任教授・名誉教授 感謝の会(大分) 参加(後藤香、甲斐由、津野、伊東、院長)	09.03	第21回 日本生殖看護学会学術集会(福井) WEB参加(薬師寺)
07.13	大分県立看護科学大学講義 参加(木村、衛藤、北村、矢野綾、大塚) 講義:「出生前診断・着床前診断・ 遺伝カウンセリング」(院長)	09.06	日本生殖心理学会 2023年度(第16期)生殖医療相談士養成講座 (WEB開催) 参加(山本)
07.22	セント・ルカ職員歓迎会	09.06	日本生殖心理学会 2023年度(第17期) 生殖心理カウンセラー養成講座(WEB開催) 参加(川村)
07.24	7月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)	09.07	The 12th Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction(Adelaide) 参加(油野、青木、事務長、院長) 発表:「The creation of a new embryo culture medium with 31 optimal components derived from human oviduct fluid: a prospective multicenter randomized trial」(院長)
07.26	第41回 日本受精着床学会総会・学術講演会 会長招宴(仙台) 参加(院長)	09.14	第63回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (滋賀/オンデマンド開催) 参加(甲斐由、院長) 発表:「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術の有効性」 (伊東裕子/甲斐由布子)
07.27	第41回 日本受精着床学会総会・学術講演会(仙台) 参加(大津、後藤香、戸高、川村、甲斐由、院長) 座長:シンポジウム3「ポストPGT-A臨床研究」 -PGT-Aを日本でどう活用すべきか-(院長) ランチョンセミナー: 「胚培養の再考-卵管内液を基に開発された 新規培養液の紹介も含め-」(院長) ポスター発表:「原疾患治療に伴う妊孕性温存目的の 精子凍結」(甲斐由布子) 発表:「胚移植時子宮内膜を用いた着床関連遺伝子の 周期変動について」(後藤香里) 「胚凍結保存期間における融解後臨床成績 および出生児調査」(後藤香里) 「重量計を使用した液体窒素タンク管理 システムの運用報告」(大津英子) 「niPGT-Aの最適な培養液採取時期の検討」 (大津英子) 「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術後患者の 創部に対する退院支援の関わりと 今後の課題について」(大塚華恋/川村智恵) 「不妊治療的医療保険に関する質問紙調査」 (戸高里美) 「体重指導を実施したBMI32の患者の一例」 (川村智恵) 「体外受精におけるトリガー時間と 卵子成熟度の検討」(伊東裕子/院長)	09.20	労務管理対策セミナー(大分) 参加(越名)
07.27	福岡臨床遺伝研究会(WEB開催) 参加(津野、伊東)	09.25	9月臨床遺伝医療部カンファレンス(WEB開催) 参加(津野、伊東、院長)
07.29	第1回 第14期オリブの会 参加者2名	09.28	福岡臨床遺伝研究会(WEB開催) 参加(津野、伊東)
08.01	院内感染研修:「感染症法について」(担当:看護部)	09.30	熊本大学医学部48会 50周年記念同窓会(熊本) 参加(院長)
		10.03	院内安全管理研修:「診療録(カルテ)について」(担当:受付)
		10.04	株式会社ジネコ オンライン質問会(WEB開催) 講師(院長)
		10.06	第13回 大分産婦人科手術研究会(大分) 参加(院長)
		10.08	2023年度 JISART施設認定審査 オプザーバー(甲斐由)
		10.10	JISART 第1回 予後調査PT会議(WEB開催) 参加(院長)
		10.10	第257回 大分市医師会産婦人科臨床検討会Hybrid学術講演会 (大分/ハイブリッド開催) 参加(甲斐由、津野、伊東、院長)
		10.11	日本人類遺伝学会 第68回大会(東京/オンデマンド開催) 参加(院長)
		10.15	Ferring ARTカンファレンス(福岡) 参加(衛藤、北山、坂本、後藤裕)
		10.17	院内全体研修:「心肺蘇生法」(担当:看護部)
		10.17	第131回 大分県周産期研究会(大分) 参加(園田、山路、魚住、矢野千、油野、高橋、山本、 佐藤友、三宮、関、濱、青木、越名、後藤厚、木村、 衛藤、北山、矢野綾、神田、後藤香、宮田、戸高、 亀井、松元、坂本、足立、薬師寺、松土、川村、 後藤裕、院長) 発表:「タイムラプスモニタリングシステムを 用いた受精卵解析の展望」(後藤香里) 「不妊治療的医療保険に関する 質問紙による調査」(戸高里美)
		10.21	日本生殖心理学会 2023年度(第17期) 生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(川村)
		10.24	院内マネジメントレビュー

10.25	JISART臨時理事会 (WEB開催) 参加 (院長)	12.01	第2回 がん・生殖医療フォーラム大分 (大分) 基調講演: 「がん生殖医療、最近の動向」 (院長) 座長: パネルディスカッション 「がん生殖医療の課題と展望」 (院長)
10.25	第258回 大分市医師会産婦人科臨床検討会Hybrid学術講演会 (大分/ハイブリッド開催) 参加 (甲斐由、津野、伊東)	12.09	忘年会
10.28	日本生殖心理学会 2023年度 (第16期) 生殖医療相談士養成講座 (東京) 参加 (山本)	12.14	第13回 日本遺伝子診療学会: 遺伝子診断・ 検査技術推進フォーラム (ハイブリッド開催)
10.30	福岡臨床遺伝研究会 (WEB開催) 参加 (津野、伊東)	12.15	第9回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 (名古屋) 参加 (院長)
11.03	第26回 日本IVF学会学術集会・ 第21回 世界体外受精会議 (ISIVF2023) (大阪) 参加 (甲斐由) ポスター発表: 「原疾患治療に伴う妊孕性温存目的の 精子凍結」 (甲斐由布子)	12.16	遺伝カウンセリング・ロールプレイ研修会 (名古屋) 参加 (院長)
11.09	第68回 日本生殖医学会学術講演会・総会 (石川) 参加 (矢野綾、神田、大塚、戸高、後藤裕、津野、院長) 発表: 「凍結保存期間における融解後臨床成績 および出生児調査」 (矢野綾音) 「niPGT-Aの最適な培養液採取時期の検討」 (神田晶子) 「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術後患者の 創部に対する関わりと退院支援の 今後について」 (大塚華恋) 「不妊治療公的医療保険に関する 質問紙による調査」 (戸高里美) ポスター発表: 「卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する 腹腔鏡下アルコール固定術の周産期 予後に関する検討」 (津野晃寿) 「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術 の治療成績の検討」 (伊東裕子)	12.23	日本生殖心理学会 2023年度 (第17期) 生殖心理カウンセラー養成講座 (東京) 参加 (川村)
11.12	第18回 大分県母性衛生学会総会・学術集会 (大分) 参加 (青木、越名、甲斐由、戸高、亀井、坂本、足立、 薬師寺、松土、川村、後藤裕、伊東) 発表: 「不妊治療公的医療保険に関する質問紙調査」 (戸高里美)	12.25	クリスマス会
11.16	第53回 大分市医師会医学会 (大分) 参加 (園田、山路、魚住、油野、高橋、山本、佐藤友、 三宮、関、濱、青木、越名、木村、後藤厚、衛藤、 北山、矢野綾、神田、長木、後藤香、大塚、甲斐由、 戸高、亀井、坂本、足立、松土、川村、後藤裕、 津野、院長) 発表: 「タイムラプスモニタリングシステムを 用いた受精卵解析の展望」 (矢野綾音) 「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術患者の 創部に対する関わりと退院支援の 今後について」 (大塚華恋)	著書	「腹腔鏡検査の意義と適応-体外受精を見据えて」 『最新の不妊症診療がわかる!-生殖補助医療を 中心とした新たな治療体系』 臨床婦人科産科76巻4号別冊 (医学書院)
11.17	第259回 大分市医師会産婦人科臨床検討会Hybrid学術講演会 (大分/ハイブリッド開催) 参加 (甲斐由、津野、伊東)	共著	「培養液の基本」 『スキルアップARTラボ 生殖補助医療の 必修知識とテクニック』78-85 (中外医学社)
11.18	第80回 赤ちゃん~今ならきつと授かる~講座 (大分・トキハ会館) 講師 (上野 (公認心理師)、院長、わさだかりつけ医院 泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加 (園田、山路、魚住、高橋、山本、佐藤友、三宮、青木、 木村、衛藤、北山、上野、大塚、亀井、坂本、川村、 後藤裕、甲斐由、津野、伊東、院長)	「PGT後の児の成長発達」 『着床前遺伝学的検査 (PGT) の最前線と 遺伝カウンセリング』第5章 PGTの近未来』 (株式会社メディカルドゥ) (印刷中)	
11.21	第1回 JISART非配偶者間啓発事業PT会議 (WEB開催) 参加 (院長)	「PGT後の児の成長発達」 『着床前遺伝学的検査 (PGT) の最前線と 遺伝カウンセリング』第5章 PGTの近未来』 (株式会社メディカルドゥ) (印刷中)	
11.25	第80回 ガーネットサークル 参加者3名	共著	「受精の判定とその異常」 『生殖医療フロントラインMOOK(2) 受精とその障害』 98-105 (中外医学社)
11.25	第85回 JISART理事会・忘年会 (熊本) 参加 (院長)	「凍結受精卵・配偶子の管理方法」 『スキルアップARTラボ 生殖補助医療の 必修知識とテクニック』431-434 (中外医学社)	
11.29	第29回 高知県生殖医療懇話会 (高知) 参加 (院長) 講演: 「ART再考-胚培養を中心に」 (院長)	「胚培養後の培養上清中に含まれる遊離DNAを 用いた非侵襲的着床前胚染色体異数性検査 (niPGT-A) の判定基準と培養日数についての検討」 『産婦人科の実際』72(9): 947-954 (金原出版株式会社)	
		論文	Creation, effects on embryo quality, and clinical outcomes of a new embryo culture medium with 31 optimized components derived from human oviduct fluid: A prospective multicenter randomized trial Reproductive Medicine and Biology 21(1): e12459, 2022

妊娠報告件数	
(2021.11.1~2022.10.31)	(2022.11.1~2023.10.31)
体外受精、顕微授精等	体外受精、顕微授精等
199件	209件
*	*
その他 (体外受精以外)	その他 (体外受精以外)
103件	79件
計 302件	計 288件

編集後記

今年新型コロナウイルスが5類に下がり、できなかった行事や現地での学会参加が少しずつ行えるようになりました。今後は更に行事や学会参加ができ以前の当院らしさが戻ってくることを願っています。

来年もスタッフ一丸となり色々なことを吸収し学びながら、患者さんに寄り添い良いサポートができるよう日々頑張っています!